



健康保険などの公的医療保険制度による医療費は「診療報酬」という法令に基づいた金額により算定されます。医療機関は患者を診察した記録(通称カルテ)をもとに、医療費を請求するための「診療報酬明細」(通称レセプト)を毎月作成して、医療費を請求します。

本チラシでは、医療費事例を紹介します。

(データ提供:株式会社セールス手帖社保険FPS研究所)

※この事例は、当該傷病で想定される具体的な症状や治療・経過を記載しています(実際の事例ではありません)。また、金額は、2013年(平成25年)8月現在の診療報酬、公的医療保険制度に基づき算出しています。

※医療機関の基準については、看護体制の整った都心部の急性期医療機関を想定して作成しています。

事例

急性心筋梗塞で24日間入院(59歳 男性)

事例の具体的な経緯、症状、治療内容(概要)

以前から、時々、胸の痛みを感じることもあったが、自宅で急激な胸痛と背部痛、呼吸困難、意識消失等の状態となり、時間外に緊急搬送された。検査の結果、急性心筋梗塞と診断され、心臓カテーテルにより血栓を取り除く緊急手術が行われた。

手術翌日にはICU(集中治療室)から一般病棟へ移動し、容態が安定してからは、機能回復のためのリハビリテーションを行ったところ、経過良好にて24日で退院となった。



支払総額
(一般)

283,469円

(上位所得者の場合418,609円)

支払総額の明細は裏面をご覧ください。

※食事自己負担額、室料(差額ベッド)を含みます。食事自己負担額、室料(差額ベッド)以外にも、入院時寝具料・衣料代、交通費(家族分も含む)などの雑費が必要となる場合があります。



●事例における医療費の内訳と自己負担、高額療養費、その他費用

支払総額
(一般)

283,469円

(上位所得者の場合418,609円)

5

1	医療費	入院1月目	入院2月目	合計
	入院日数	3日	21日	24日
	初診料 (円)	5,000	0	5,000
	医学管理料 (円)	3,250	4,150	7,400
	投薬料 (円)	12,180	32,480	44,660
	注射料 (円)	10,570	3,840	14,410
	処置料 (円)	1,990	0	1,990
	手術料 (円)	665,260	0	665,260
	検査料 (円)	22,760	0	22,760
	画像診断料 (円)	22,500	0	22,500
	リハビリテーション料 (円)	0	81,200	81,200
	入院料 (円)	114,670	538,990	653,660
	医療費合計 (円)	858,180	660,660	1,518,840
2	A 3割自己負担額 (円)	257,450	198,200	455,650

3	高額療養費	1月目	2月目	合計
	自己負担限度額(一般) (円)	86,012	84,037	—
	B 高額療養費 (円)	171,438	114,163	285,601

4	その他の費用	1月目	2月目	合計
	入院時食事自己負担額 (円)	1,560	15,860	17,420
	室料(差額ベッド) (円)	12,000	84,000	96,000
	C 小計 (円)	13,560	99,860	113,420

支払総額(一般)		1月目	2月目	合計
自己負担額総計	A - B + C (円)	99,572	183,897	283,469

※食事自己負担額:1食260円×食事回数67回で計算。

※室料(差額ベッド):この事例では、1日4,000円として計算。(室料(差額ベッド)は病院や室により異なります。かからない場合もあります。)

※事例の内容(治療内容・治療経過等)は、表面をご覧ください。

※「その他の費用」として表示している食事自己負担額、室料(差額ベッド)以外にも入院時寝具料・衣料代、交通費(家族分も含む)などの雑費が必要となる場合があります。

事例の読み方

1 医療費の内訳と3割自己負担額

レセプトに応じた医療費の明細と3割自己負担額です。

2 医療費の自己負担額総額

所得により異なります。本チラシでは一般所得者と上位所得者(標準報酬月額53万円以上)のケースを記載しています。収入に応じて自己負担の金額が異なりますので注意してください。

3 高額療養費(70歳未満の場合)

以下の算式・手順で求められます。(概要)

a) 自己負担限度額の算出
一般所得者: 80,100円 + (医療費合計 - 267,000円) × 1%
上位所得者(標準報酬月額53万円以上):
150,000円 + (医療費合計 - 500,000円) × 1%b) 高額療養費の算出
(自己負担額) - (高額療養費の自己負担限度額)

4 その他の費用

医療費以外にかかった費用について食事自己負担額、室料(差額ベッド)を表示しています。食事自己負担額、室料(差額ベッド)以外にもその他雑費が必要となる場合があります。

5 当該事例における最終的な自己負担の総額

本チラシは、株式会社セールス手帖社保険FPS研究所よりデータ提供を受け、作成したものです。公的医療保険制度については、各公的医療保険の窓口にお問い合わせください。

●取扱者/代理店

●引受保険会社

東京海上日動あんしん生命保険株式会社